

## 目標達成計画

作成日：平成25年12月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	2号館が増設され、職員も増えており、今後さらに増える可能性があるが、現場で指導を担当する職員が少なく、集中して指導することが困難な状況である。介護技術はもちろん、施設の理念の理解も含めて指導を充実させる必要がある。	・新規採用の指導(技術面、理念等)を充実させる。	・指導者の育成 ・職員全体の新規採用者育成への意識の向上 ・新規採用者自立度チェック表の活用	6ヶ月
2	34	高齢者で複数の疾病を持たれている方が多く、また2号館増設により利用者が増えている中、急変や突発的な事態の可能性も高くなると考えられ、それらに対する応急手当や初期対応の技術が未熟である。	利用者の急変や事故発生時に備えて、応急手当や初期対応の技術を身につける。	・消防署協力による研修、指導 ・施設内の勉強会	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。